

多職種連携推進研修部会の第2回研修会が開催されました



2017年11月28日

第2回多職種連携研修会

さる11月28日上越市民プラザ 第2会議室にて第2回多職種連携研修会を開催しました。

参加者は、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、相談員、リハビリ職、管理栄養士、介護支援専門員、介護員、福祉用具専門相談員等25名、部会委員5名、事務局5名の計35名です。

今年度は、「その人らしさ、持ち味、生活力をかかわる皆で共有し、その人が本来持つ力を引き出し、在宅での生活を継続していくために、地域連携連絡票を活用することができる」を目標に、第1回研修会では、実際に地域連携連絡票を作成し、在宅生活を支えていくために大切だと思うこと等について話し合いました。

○第2回研修会内容

【テーマ】退院前カンファレンスについて学ぶ

第2回研修会では、地域連携連絡票を用いた退院前カンファレンスの目的や意義について理解を深めるために、模擬カンファレンスを行いました。

また、本人・家族が安心して退院できるようにするために大切だと思うこと、退院前カンファレンスにおいて地域連携連絡票をどのように活用していくことができるか等について話し合い、以下の意見がでました。

～ グループワークから ～

- 退院前の本人・家族の不安や希望をうまく引き出していけるとよい。
- 関わる職種が一同に集まって情報を共有する場として重要な機会。短時間で情報共有ができるのは、退院前カンファレンスならではの。
- 一方通行の報告だけではなく、意見交換を行うことでより具体的に在宅生活をイメージできるのではないかな。
- 多職種が連携し関わっていくことを、退院前カンファレンスの際に、本人・家族を含めて共有していくことで不安の軽減につながる。
- 地域連携連絡票は、常に完成形ではなくカンファレンスなどの際に多職種で情報を追加・修正していくことで進化していくもの。
- 関わる職種で協力して作成していく使い方ができれば、作成を通して、より在宅生活をイメージできるのではないかな。

○第3回研修会内容

平成30年2月27日(火) 19時から
上越市市民プラザ 第2会議室

第3回は、「サービス担当者会議について学ぶ」をテーマに、地域連携連絡票を用いて模擬カンファレンスを行います。

